

五本松小学校の職員として 合い言葉は、

**チーム GO 小 オール GO 小 「One for All, All for One.」**

- ① まずは、健康第一。あなたの代わりはいません。私たち自身が、「心の元気と体の元気」に心しましょう。元気で笑顔、社会人の基本です。
- ② 自分の仕事や役割をしっかりと努めること。自分の学級、学年の児童をしっかりと育てること。自分の校務分掌を責任持ってやり遂げること。これがチーム五小の基本です。
- ③ 相互の仕事を理解し、尊重しましょう。自分が伸びるために他人の良さを学ぶ心が大切です。
- ④ 困っている職員がいたら暖かい手をさしのべよう。自分が動くときに周りをちょっと見回してみる。こんなちょっとした心遣いが、職場を明るくします。
- ⑤ 仕事は「報告・連絡・相談」そして、記録が大切です。
- ⑥ 働きやすい職場、やりがいのある職場を作っていきましょう。どうせ働くのなら、楽しくやりがいを持って働きましょう。  
「一生懸命仕事をすれば、知恵が生まれる。中途半端では、愚痴が出る。何もやっていなければ、言い訳が出る。」
- ⑦ 学校経営の主人公は、先生方お一人お一人、何よりも先生方が「明日もこの学校に来たい」「五本松小学校が大好き」と思える学校にするのはあなた自身です。
- ⑧ 「子ども達は先生の姿を見て育っていきます。」挨拶は自分から、掃除は児童と共に汗を流す、授業は児童との真剣勝負です。
- ⑨ 謙虚に、保護者の意見地域の声を聞くことは大切ですが、あまり、保護者の評価は気にすることはありません。子どもが先生を評価してくれます。  
子ども達と信頼関係を築いていけば、親からの文句はきません。
- ⑩ 何よりも、自分の信念です。「子ども第一」子どものためになると思うことは、どんどんやろう。  
「失敗には2つある。一つは許される失敗、もう一つは許されない失敗。許される失敗は、新しいことに挑戦したときの失敗。許されない失敗は、手を抜いたときの失敗。」
- ⑪ 子どもを叱ることに怯まないでください。先生は、児童の友達ではありません。間違った言動には厳しく継続的に指導しましょう。  
「ネバーギブアップ」
- ⑫ 最後に、サービスについて
  - ・良識ある社会人として（服装・挨拶・言動・電話）
  - ・信用失墜行為の厳禁（体罰、飲酒運転など）一つの不祥事、一人の不祥事で学校は信頼を失ってしまいます。

## 平成30年度 鎌ヶ谷市立五本松小学校経営方針

平成30年4月2日

### 【はじめに】

義務教育の目的は、一人一人の人格の完成と、国家・社会の形成者の育成の二点に集約され、この両者の調和のとれた教育を実現することである。この教育の原点をふまえ、未来を担う子どもたちの教育を自信と誇りを持って進めていきたい。

知・徳・体のバランスのとれた子どもたちの育成をめざし、平成30年度は、次の5点に重点をおいて取り組んでいきたい。

- 1 基礎・基本の確実な定着を図る。社会の中で力強く生きていくため、人生を豊かにする知識や技術等について活用できる力を育成する。子どもたちに、自ら学び、思考し、判断し、表現する力を育成していく。
- 2 教育活動全体をとおして、人間関係づくりと道徳教育を推進し、思いやりのある豊かな心を育む。また、運動・食事・休養など生活習慣に関する指導を行い、活力にあふれる健やかでたくましい体を育成する。
- 3 家庭と連携して、基本的な生活習慣をしっかりと身につけさせる。挨拶、返事、靴をそろえる、傘をたたむ、まじめに清掃をするなど徹底して指導していく。
- 4 保護者や地域から信頼される安全・安心な学校、地域とともに歩む学校づくりをすすめる。
- 5 児童一人一人の教育的ニーズに対応した特別支援教育を推進する。(特別支援の推進を支える学校体制づくり)個に応じた指導内容や指導方法の工夫改善を図る。どの子にも得手不得手な部分があることを認識し、個々の子どもを細かく見ることにより、その対応にあたる。

子どもを取り巻く教育課題の中には、種々の要因が複雑に絡み合い、学校・家庭・地域及び教育関係諸機関等との連携がなければ解決できないものが増加している。

「一人一人と向き合う教育活動の推進」、「地域とともに歩む学校づくり」「安全・安心で信頼される学校づくり」を経営の基盤として、その実現に向けて全職員が協力し合い、組織の一員として力を発揮し全力で取り組んでいきたい。

この取り組みを推進していく中で、保護者や地域の学校教育に対する信頼を高めていきたいと考える。それには、学校が安心して信頼して子どもを託すことのできる場でなくてはならない。

本校を充実・発展させていくために、教職員の子どもへの愛情と教育への情熱と教育の専門職としての使命感をもって、教育活動の実践にあたっていきたい。

## 学校教育目標

かしこく やさしく たくましく

### めざす児童像

「かしこく やさしく たくましい子どもの育成」

知・徳・体のバランスのとれた子ども

- (1) 明るく元気にあいさつのできる子
- (2) 進んで学び、学んだことを活用できる子
- (3) 自分や友だちを大切にし、思いやりのある子
- (4) 進んで運動する子
- (5) 物事に真剣に取り組み、やりぬく子

### めざす教師像

「子どもとともに歩む教師」

合い言葉は、「チームGO小 オールGO小

One for all, All for one.」

- (1) 児童理解に努め、児童・保護者・地域から信頼される教師
- (2) 学校教育目標実現に向け組織の一員として仕事にうちこむ教師
- (3) 子どもから学ぶ教師
- (4) 謙虚な気持ちをもち、絶えず自らを高めていく教師
- (5) いじめを見逃さず、毅然とした対応のできる教師
- (6) 子どもの生命と安全を守る教師
- (7) 授業力向上に努める教師

### めざす学校像

「安全・安心で家庭・地域から信頼される学校」

学校の情報を発信し、地域や家庭との連携を図る

- (1) 一人一人の子どもを大切にする学校
- (2) 安全できれいな学校
- (3) いじめのない学校
- (4) 歌声の響く学校
- (5) 地域とともに歩む学校

## I 経営方針

- (1) 学校教育目標の実現に向けて、教職員の意欲と組織力を生かした学校経営を推進する。
- (2) 子どもたち一人一人と向き合い、きめ細かな教育活動を推進する。
- (3) 相互の信頼関係を築く授業をつくることを基盤とし、学び合い、高め合う授業づくりを推進する。
- (4) 子どもたちの豊かな人間関係づくりに努め、人・地域・学校を大切にする心を育む。
- (5) 「開かれた学校づくり」を推進し、家庭・地域との連携を強化し、保護者・地域の人とともに子どもの健全育成を図る学校経営を推進する。
- (6) 研修、研究活動をとおして教職員個々の指導力向上を図り、豊かな人間性を培う。

## II めざす学校像

- (1) 一人一人の子どもを大切にする学校
- (2) きれいな学校
- (3) いじめのない学校
- (4) 歌声の響く学校
- (5) 地域とともに歩む学校

## III めざす教師像

- (1) 児童理解に努め、児童・保護者・地域から信頼される教師
- (2) 学校教育目標実現に向け、組織の一員として仕事にうちこむ教師
- (3) 子どもから学ぶ教師
- (4) 謙虚な気持ちをもち、絶えず自らを高めていく教師
- (5) いじめを見逃さず、毅然とした対応のできる教師
- (6) 子どもの生命と安全を守る教師
- (7) 授業力向上に努める教師

## IV めざす児童像

- (1) 明るく元気にあいさつのできる子
- (2) 進んで学び、学んだことを活用できる子
- (3) 自分や友だちを大切にし、思いやりのある子
- (4) 進んで運動する子
- (5) 物事に真剣に取り組み、やりぬく子

## V 学校教育目標

「かしこく やさしく たくましい子どもの育成」

### 重点目標

- (1) 進んで学ぶ かしこい子ども (学び方を身につける:知力)
- (2) 心をみがく やさしい子ども (思いやりとやさしさを身につける:徳力)
- (3) 体をつくる たくましい子ども (たくましい体と強い心を身につける:体力)

## VI 学校経営の重点

### (1) 開かれた学校と安全で信頼される学校

- 学校教育目標の具現化を図る教育課程の編成と実施
- 組織マネジメントを生かした機動力のある組織づくりと学校評価の活用
- 交通安全、自然災害等安全指導の充実と家庭・地域と連携した安全で
- 信頼される学校づくりの推進
  - ・積極的な情報の発信と学校公開(学校HPの積極的な活用と充実、学年・学級便り等の各種の便りの情報発信、学校メールによる発信)
- 家庭・地域教育力の向上と地域の力を生かした活動の推進

### (2) 確かな学力を育む

- 「自ら学び、思考し、判断し、表現する力」の育成
  - ・基礎的・基本的な知識・技能の習得
  - ・言語活動を通じて思考力や判断力、表現力の育成
  - ・体験的な学習や問題解決的な学習の重視
  - ・「学び方」を身につけさせる。
  - ・人の話をしっかり聞くこと、呼ばれたら返事のできる子の育成
- 指導目標の明確化と指導方法の工夫改善
  - ・発達の段階を踏まえ、指導目標明確にした指導計画の作成。
  - ・目標に応じた授業構成、展開等の工夫。
- 指導と評価の一体化
  - ・指導目標に即した評価規準を設定、評価方法の工夫により児童の学習意欲の喚起と、自らの指導改善
- 個に応じた指導の一層の充実
  - ・一人一人の学力の状況や日々の授業の理解度の把握
  - ・少人数指導等、全教職員が協力して個に応じた指導の推進
  - ・相互の教え合い、学び合いから自己実現を図る
  - ・活用する力を育成し、学力向上につなげる
- 読書指導の充実
  - ・読み聞かせ、調べ学習を取り入れる等の読書活動の一層の充実
  - ・自ら進んで読書に親しむ意欲と態度の育成
  - ・読書活動年間計画の作成と学校図書館の活性化を図る
  - ・図書ボランティアの活用と各学級担任の図書指導の充実

□総合的な学習の時間の充実

- ・育てようとする資質・能力を明確にした目標及び内容のもと全体計画作成
- ・地域の教育資源の積極的活用。探求的、共同的な学習の活用により、問題解決能力の育成

□国際理解教育の推進

□キャリア教育の推進

- ・キャリア教育の視点での教育活動を捉え直し
- ・社会的・職業的自律に向けて必要な基盤となる能力や態度の育成
- ・自己の将来を思い描く指導の工夫改善

(3) 豊かな心を育む

□あいさつのできる子の育成

- ・学校教育活動全ての中で重視
- ・あいさつは自分から先に言う
- ・返事は「はい」とはっきり言う
- ・基本的な生活習慣の育成（くつのかかとを踏まずにをきちんと履く。くつをそろえる。傘立ての整頓。椅子は入れる。入退室の方法。右側通行）
- ・腰骨を立てて、姿勢を正す。（聴く姿勢づくり、歌う姿勢）  
\* 人としての土台づくりをする

□道徳教育の充実

- ・生きる力の基盤となる豊かな心の育成。
- ・自分を大切にし、他人も大切にするのできる心の育成。
- ・生活習慣や規範意識を身につける。  
児童一人一人が自分を見つめ、自分を高めていける場を設定する。
- ・道徳授業の全学級、家庭や地域へ公開…H27. 県 道徳推進校指定

□生徒指導の機能を重視した授業の展開

- ・自己決定の場・自己有用感の場・自尊感情を高める場を通して共感的な人間関係の育成
- ・一人一人の活躍の場や成就感の持てる正義感のある支持的風土のある誠実な心と真面目な態度を基盤とした学級づくりの構築
- ・わかる授業の展開。

□心を磨く清掃の推進

- ・きれいな学校生活環境を通して子どもの心の豊かさを育成を図る。
- ・無言清掃の実施。

□確かな児童理解と組織対応の充実

- ・発達段階に即した個々の児童理解と教育相談を重視した生徒指導の推進

- いじめ防止・早期発見・早期対応の一層の推進。
  - ・いじめ防止対策等に対する組織と基本方針の見直し
  - ・「いじめゼロの学校宣言」を校内外に周知し取り組む。
- 一人一人を大切に作る集団づくりとお互いの信頼関係の構築
  - ・自他の「生命」を大切に作る心の育成
  - ・人権意識の向上、規範意識の醸成と生命を大切に作る心を育む
  - ・いじめや暴力行為等の防止
- 校内体制の整備と確かな計画に基づいた教育相談の充実
  - ・保護者と一体となった問題解決の推進
- 特別支援教育の体制づくりの整備
  - ・ユニバーサルデザインの視点を持ったわかる授業の推進と学級における支援の充実と指導方法の工夫改善
- 学級・学年経営力の向上
  - ・かかわりを大切に作る教育を通して、安全でいじめのない学級・学年・学校づくりの構築
  - ・子どもの生命安全を守る。
  - ・自覚と自律の生活指導(基本は、人の話を聞ける子どもであること)
  - ・人権・生命尊重の教育、体罰の否定
  - ・すべての子どもへの温かい柔軟なかかわり  
(ほめる、良さや伸びを積極的にほめて繰り返す。)
  - ・具体的な行動様式の徹底・・・事前指導の徹底と振り返りの大切さ  
(特に集会活動においては整然とした入退場を徹底)
  - ・子どもの名前を呼び捨てにしない。(人格を大切に)
- (4) たくましい心身を育む・・・体育・健康・安全教育の推進
  - 運動に親しむ資質や能力の育成と体力の向上
    - ・正課体育の充実
    - ・たくましい体づくりと自分に打ち克つ心の育成
    - ・生涯にわたってスポーツを楽しむ態度の育成を図る
    - ・体力テストの分析とその活用を図る
  - 健康で安全な生活を実践する能力と態度の育成
    - ・心身の発達に応じた健康教育を推進
    - ・早寝、早起きなどの望ましい生活習慣を形成する力の育成
  - 食に関する指導の充実
    - ・家庭や地域社会と連携し、生涯にわたり望ましい食生活を送ろうとする態度を養う
    - ・健やかな体と豊かな心を持ち、食事を楽しむ児童の育成を図る
    - ・食物アレルギーへの対応

#### □危機管理の徹底

- ・「自分の命は自分で守る」防災意識の定着を図る避難訓練の効果的実施(ワンポイント避難訓練の複数回実施)
- ・役割分担の徹底、危機管理マニュアルの活用と改善
- ・自然大災害等を見据えた保護者引き渡し訓練の見直し

#### (5) 信頼される教職員

##### □ 教職員としての研究と修養

- ・教職員としての使命と責任を自覚し、幅広い視野と豊かな人間性を身につけるために日頃から研鑽に努める
- ・子どものモデルとしての教師の姿・表現力を高める教師の姿勢  
子どもに指導していることは、教師自身も実行する。(師弟同行)
- ・地域のニーズ、児童の実態に応じた研究課題を設定し、職員としての研究と修養に努める
- ・授業研究をとおして、個々の資質と指導技術の向上、指導方法の工夫改善を目指し、計画的・主体的に講師等の指導を受け、授業力向上に生かす
- ・研究組織を生かし、年間計画の立案に基づき、見通しを持った研究を推進する(校内研究・教職研修・ミドルリーダー・若年層研修他)
- ・ちば「授業錬磨の公開日」や校内における相互授業参観等の実施をとおして、児童に学力を付け、授業改善を図る
- ・教育資源の活用(外部人材・学区内の自然や建物等の教育資源)
- ・学校運営に積極的に関わり、服務規律の遵守と自覚と努力を怠らない
- ・使命感や高い倫理観、専門性を高め、不祥事を絶対におこさない

#### 先生方に伝えたい 5つの言葉

- 1 教職は、子どもの成長を身近に見られる尊い仕事である。  
教員は、子どもと共に成長していける価値ある職業人である。
- 2 社会人として基本中の基本は、人に迷惑をかけないことである。休まない、遅刻しない、元気に前向きに仕事をする事は、当たり前のことである。
- 3 常に先を見通して、仕事をする事。子供を中核に据えて、「子供にとってどうすることがベストなのか」を第一に考えること。
- 4 報告・連絡・相談・・・保護者からの相談に対しては、まずは担任がしっかりと話を聞く、解決できないときや相談レベルに応じ学年主任に相談すること。  
学校に関することや相談のレベルが高い場合は、主幹教諭か教頭に相談すること。
- 5 苦しみ無くして得るものは無し。人生にはつらいことも多いが、逆境に立ち向かい、前向きに新たな革新を起こし続けること、失敗も成功もよし、何もしないことが悪である。